

南木曾町消防団出初式 町長訓辞 (全文)

新年明けましておめでとうございます。

出ま町をるを
団り曾謝い礼
防あ木感てお
消で南とつく
町りめ意賜厚
曾限た敬をに
木ののに力体
南び地域協団
年慶地諸ご係
8くず員援関
和しわ団支関
令嬉問るご関
しにをいで機
え誠に面係
迎、昼つ場関
おはりわなの
をとよ携々く
位こ頃に様多
各す日動ため
賓ま、活まじ
来きて団。は
にでっ防す県
こ行も消ま国
こ挙ずにげ
日が先め上席
本式。たし列
初すの申ご申

、者応練、況置
か明対訓は状に
ほ不なと動い胸
だ方確け変な
い行的が候く常
次やつ心氣しを
相災かののか感
が火速ら年お命
災は迅か近も使
火でも頃らての
林内れ日がきて
山町ずにな起し
な。いえしがと
模た、とか害員
規しがひし災団
大またも。な防
でりしれすう消
地こまこでよ、
各起り、のので
全国もあきもど
全害がでる、す
は災動がすでま
年震出と謝こい
昨地でこ感どて
て・索ると、つ
さ雨搜取賜つな
豪のをのいにき

型努力変
小努大
車、のて
プ諸と
ン員に
の、住
では域
会挙地
大快は
法う姿
操いた
プとし
ン勝う
ポ優こ
防の、
消で、
郡部に
曾の同
木方の
の双と
年法あ
昨操で
まプ果
ポの心

凝口する防強
を人す。実
夫も「す充
工てにの
じと元覚力
は町をく防
編が、木い
改す南めて
組織まと進
もいっを
でても「み
防団い、組
、めか取団
で、めを種
中、に止に
る営箇共
す運のどん
少のしさい
減がら少皆
ががに動
員がに少皆
団員がに少
らし減た災
化に

「災害から逃れ災害に遭わない、安全で、安心して暮らせるまち」を目指すと共に、団員諸君においても年頭に当たって、「自分たちの郷土は自分たちで守る。」という消防精神の理念を今一度思い起こして頂き、高橋団長のもと一丸となって町の皆さんの付託に応えて頂くようお願い致します。

本年も団員各位が健康で活躍される事を期待すると共に、平穩で穩やかな年となるよう願って訓辞とします。

(令和8年1月11日 南木曾町社会体育館)